

令和4年度 【稲美町】認知症地域支援推進員活動報告

【稲美町】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割：認知症施策全般担当

窓口相談

認知症相談窓口連絡会の開催

もの忘れ健診の実施

認知症教室開催

認知症予防・理解等の啓発業務

認知症サポーター養成講座事務

キャラバンメイト連絡会の開催

チームオレンジの立ち上げ支援

認知症関連の連携会議への出席

認知症家族会の支援

認知症カフェの支援

認知症初期集中支援推進事業

認知症高齢者等SOSネットワーク事業

認知症ケアパスの作成・普及

本人ミーティングの開催

報告者氏名：森本 実佳

【稲美町】認知症施策全体図

予防	<ul style="list-style-type: none">■健康教育■介護予防事業（いきいきサロン・いきいき広場・いきいきミニ広場）
早期支援	<ul style="list-style-type: none">■もの忘れ健診■認知症相談窓口・継続訪問支援（在宅介護支援センター）■東播認知症教室■介護予防事業（いきいきサロン・いきいき広場・いきいきミニ広場）■本人ミーティング■認知症カフェの支援
家族支援	<ul style="list-style-type: none">■認知症相談窓口（3箇所）■東播認知症教室■継続訪問支援（在宅介護支援センター）■家庭介護教室■認知症家族会の支援■SOS見守りネットワーク徘徊高齢者家族支援サービス■認知症高齢者等個人賠償責任保険事業
地域連携	<ul style="list-style-type: none">■認知症サポーター養成■地域見守り活動事業■認知症カフェ支援■認知症相談窓口連絡会■加古川認知症連絡協議会等連携会議への参加

【稲美町】R4年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 認知症の人本人の社会参加・発信への支援

稲美町で初の小学生キッズサポーター129名を養成



コロナの感染拡大により
急遽リモートで実施。
当事者が子どもたちから
の質問に答える



介護者による認知症
絵本の読み聞かせ

中学生認知症サポーター養成講座にも参加し 145名養成

認知症になってもちょっとしたサポートを受けながら仕事も趣味も
続けている様子をお話をして頂きました。



趣味の傘踊
りを動画で
紹介



花のお仕事
紹介



作った花を
孫がアレン
ジメント

～小学生感想文～

・認知症になっても、周りのサポートがあれば今までやっていた事などを続けられるということを知りました。私は認知症の方が少しでも生きやすい世の中になるようになんでもいいので協力していきたいです。

・認知症を身近に感じ、病気として扱わず、普通の人と思って接したいです。また、認知症の人とのかかわりを大切にし、自分の家族がもし認知症になったら不安にならないようにしてあげたいです。

～中学生の感想文～

・今まで認知症の人は常に介護が必要と思っていたけど、講座にきてくれた認知症の人は自分なりの楽しみを見つけていて普通の人と何も変わらない生活をしていてすごく驚きました。ずっと偏見だったけど、なってしまったことを暗く重くみるのではなく、明るくポジティブに受け止める大切さを学びました。

～保護者の感想文～

・正直認知症のことはあまり意識したことがなかったですが、近い将来のためにももっと向き合っていないと、なってみてからでは遅いと思うので、子供同様、私たちも学んでいかなければいけないと思いました。

・まずは認知症について正しく理解することの大切さを感じました。環境や周囲の接し方で症状も変わるということから、当事者がどのような思いを持っているか寄り添い見守る温かい環境づくりのためにできることから取り組みたいと感じました。



こども園で認知症カフェ

こども園で実施してる母里カフェと連携し、認知症カフェを開催。子どもと認知症当事者が手遊びや歌、折り紙などの遊びを通してふれあいを行っている。



当事者の方が育てた花をプレゼントされ、保育士がアレンジメント

当事者の方が育てた花をプレゼントされ、作品を作る園児

本人ミーティングで認知症カフェの名称変更



カフェいこいご案内

カAFEいこいは、認知症の方やご家族、地域の方、介護や医療の専門職の方などが、コーヒーやお茶を飲みながら、お互いの悩みを話したり、情報交換などをしながら、楽しく交流できる場所です。ちよこつとお茶を飲んで、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしませんか。誰でも気軽に参加できるので、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

カフェの名称	開催場所 問合せ先	開催日時	活動内容
カAFE愛	グループホーム琴音 (岬安 1256) 079-492-7610	毎月第4日曜日 午前10時～12時(正午)	健康体操など介護予防 認知症予防の相談 認知症の相談
カAFE結	グループホーム国岡 (国岡 1-117) 079-492-1088	毎月第2日曜日 午前10時～12時(正午)	健康体操やリズム体操 茶話会 認知症等の相談
げんきかい	中村 1212 079-492-9393 藤本 なつえ	毎月第1木曜日 午後1時30分～午後3時	前半はレクリエーション 後半は茶話会
なんなん亭	天満寺小学校なんなん広 場ランチルーム(森安 81) 079-492-1257 大西 鏡美	毎月第3金曜日 午前10時～12時(正午)	茶話会 認知症等の相談
母里カフェ	いなみ野 母里こども園 (野寺 95-5) 079-495-1550 福永 美恵子	令和4年 6/23、7/28、8/25、 9/29、10/27、11/24、 令和5年 1/26 午前10時～12時(正午)	茶話会 子どもとのふれあいなど

※開催日が変更になる場合がありますので、参加を希望される場合は、まずは各カフェの問合せ先へ連絡してください。

© 問合せ：稲美町地域包括支援センター TEL 079-492-9150

本人ミーティングで、認知症カフェの稲美町版の通称名を話し合い、「カAFEいこい」に決定

〈効果〉

認知症に対する偏見が、受診行動を阻んだり、周囲の目を気にして地域活動に参加できなくなることがあり、偏見をなくすことは課題の一つである。

こども時代に認知症の正しい情報を伝えることは偏見を生まず、認知症の人にやさしい町づくりの第一歩になる。子供たちは認知症の方と会う機会は少ないため、実際に認知症の方の語りや介護者の介護の様子を聞いて実践型の学びを深めることができた。「優しく接したい」と感じてくれた子どもが数多くいた。また、今まで認知症サポーター養成講座をしても参加しづらい世代の方に、子どもを通して講座の中身を伝えてもらったことで、親世代からも好評の声をいただいた。

また、支援者でも認知症カフェという名称は誘いにくいとの声があったため、稲美町の認知症カフェを総称した呼び方を当事者中心に決め、親しみやすく参加しやすい名称に改めた。



最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）

認知症当事者が人前に出て自分のことを話すというのはエネルギーがいることだが、家族やチームオレンジのメンバー、キャラバンメイトのみんなのサポートがあるので当事者の声を発信することができた。

当事者や家族もキッズサポーター養成講座や認知症カフェ等を通して社会参加の機会が増え、多くの方から感謝されることで貢献感が高まったと思われる。

認知症になってもその人らしく最期まで暮らせる町になるよう、地道に活動を続けていきたい。

